



尿道閉塞

■ 病気の概要

尿道が結石や栓子などで詰まり、尿が全く出せなくなる緊急疾患です。特にオス猫は尿道が細いため詰まりやすく、12～24時間以内に治療しないと腎不全・高カリウム血症により命に関わります。

「トイレに行くのに尿が出ない」と気づいたら、すぐにご来院ください。

■ 主な症状（飼い主さんが気づくサイン）

- ・ トイレに何度も行くのに尿が出ない（最重要サイン）
- ・ トイレでうずくまって鳴く・苦しそう
- ・ 血尿
- ・ お腹が張っている
- ・ 元気消失・食欲低下
- ・ 嘔吐・ぐったりしている（重症）

■ どんな検査をするの？

- ・ 身体検査（膀胱の触診）
- ・ 血液検査（腎機能・カリウム値の緊急評価）
- ・ 腹部超音波検査
- ・ 尿検査
- ・ レントゲン（結石があるかどうか）

■ 治療方法

内科治療

- ・ カテーテルによる閉塞解除・膀胱洗浄
- ・ 点滴（腎機能回復・電解質補正）
- ・ 入院管理（1～3日間）
- ・ 泌尿器サポート療法食の継続

外科治療

- ・ 詰まりを繰り返す場合は会陰部尿道形成術（PU手術）：尿道を広げる手術

■ ご家庭で気をつけること

- ・ ウェットフード中心の食事（水分摂取を増やす）
- ・ 泌尿器サポート療法食の継続
- ・ 流水式給水器の活用
- ・ 毎日のトイレ回数・尿量の確認
- ・ 定期的な尿検査（3～6 ヶ月ごと）

■ よくある質問

Q. すぐ病院に行く必要がありますか？

A. はい。尿が出ない状態は数時間で命に関わります。まず当院にお電話ください。時間外の場合は夜間救急病院をご利用ください。

Q. 再発しますか？

A. 再発しやすい病気です。食事療法の継続と定期検査が重要です。

Q. 手術（PU 手術）が必要なこともありますか？

A. 閉塞を繰り返す場合は、尿道を広げる手術で再発を減らすことができます。ご相談ください。

Q. 入院はどのくらいですか？

A. 通常 1～3 日間です。状態によっては数日かかることがあります。

■ なつ動物病院での診療について

診察時間内であれば可能な限り対応します。膀胱カテーテルによる閉塞解除・入院管理・食事指導・PU 手術まで一貫して対応しています。「尿が出ない気がする」と思ったらすぐにお電話ください。夜間・時間外の場合は、北九州夜間救急動物病院（車で約 40 分）または福岡夜間救急動物病院（車で約 90 分）をご利用ください。

なつ動物病院 気になることがあれば、予約外でもお気軽にご来院ください